

『将来ユーチューバーになりたい!』 は、ダメですか?

近年「子どもが将来なりたい職業ランキング」で、**ユーチューバー**が上位にランキングしています。子どもが「将来ユーチューバーになりたい」と言ったら、あなたはどのように思いますか?

▶ そもそもユーチューバーとは?

「動画共有サイトYouTubeを利用して動画をアップロードし、ビジネスを実践する人」をいいます。収益はほとんどが動画に載せた広告収入で、1動画再生単価は0.02~0.2円といわれています。キッズユーチューバーもいるとか。



▶ なぜ子どもはユーチューバーに憧れるのか?

ユーチューバーの魅力をまとめてみました。

- 特別な資格がいらない。
- 自分のアイデアや能力を表現できる。
- 働く時間や場所が自由。
- 再生回数やコメントを通してやりがいを感じられる。
- 趣味や好きなことを通して収入が得られる。

なんとも理想の職業ではありませんか。ではなぜ、否定的な気持ちを抱く方がいるのでしょうか。

▶ 大人が否定的に思う理由は?

一方、大人が子どもについてほしい職業1位は公務員でした。安定は、子どもの将来を思う親の気持ちの反映ですね。ユーチューバーという夢をなんとなく肯定できない理由は、不安定で苦勞して欲しくないという親の愛が、根底にあるのではないのでしょうか。

▶ 大人ができることは?

ネット上に自分を発信することは、数々のリスクも伴います。個人情報の流出、削除してもネット上に残り続ける、再生数アップ目的で過激な内容になりやすい、注目を浴びると炎上もしやすい(非難が殺到する)、などです。大人が対応できることはなにか、情報交流館カメリアのITサポーター紺矢誠さんにもお話を伺いました。



まずは大人が正しい知識を得て、反対するとしたら子どもに伝わる根拠のある回答をして欲しいと思います。インターネットの使用が子どものやりたい放題にならないよう、**家庭でしっかりルールを作ることが必要**です。インターネットの時間を制限することは、昔のテレビやマンガの時間を制限することと同じに必要なルールですよ。

親は、努力せずに成功してしまう危険性を心配に思うのでは。プロ野球選手と違ってユーチューバーは身近に感じるため、自分でも簡単に出来るかもしれないと思いがちですが、**無数にいるユーチューバーの中で高収入を得る人は微々たるもの**。ユーチューバー自体、今後いつまで存在するかもわかりません。

インターネット上では顔が見えにくいので誹謗中傷をしやすい。コメントする側も非難に賛同することで、いじめに加担する可能性もある。「モラルに反する人を見つけて非難→自分が良いことをしている気分になっってしまうのです(最近のメディアにもその傾向あり)。いつか自分に返ってくるということも教える必要があります。



ママレポーター瀬川と紺矢さん

情報交流館
カメリアより

「ITなんでも相談窓口」開設中です!!子どもたちが使用する情報機器のフィルタリング(閲覧制限)などについてもお気軽にご相談ください。詳しくはお電話にて ☎076-227-6200

▶ 子どもが夢を語れる、親が夢を応援できる環境でありたい

今後10~20年で47%の仕事が機械に代行されるといわれる今、これから新しい職業がもっと生まれる可能性は大きいです。実際にどんな職業に就くかは本人の選択ですが、誰でも夢を応援されたら嬉しいもの。子どもが瞳を輝かせて「〇〇になりたい!」と話したとき、生きた「いいね!」をあげることができたら、目先の宿題もやる気マンマンで頑張るかもしれません。

